

水稲「コシヒカリ」の種子生産に対応した肥効調節型肥料

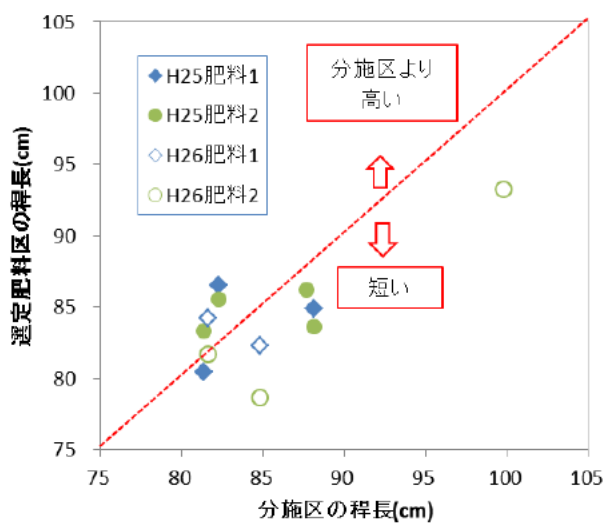
利用対象：三重県内水稲種子生産農家

○食用水稲の生産においては肥効調節型肥料の利用が急速に進んでおり、種子生産においても肥効調節型肥料を利用した生産技術の開発が求められています。

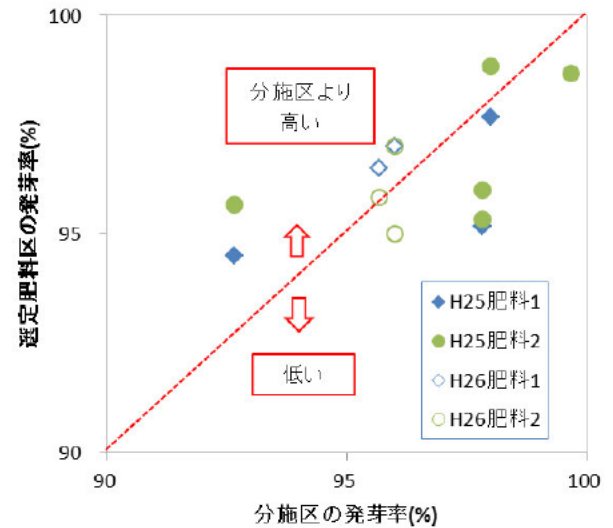
水稲「コシヒカリ」の種子生産で利用できる肥効調節型肥料を選定しました！

特徴

- 【選定肥料 1】 <J 社> シグモイド 90 日タイプ被覆尿素配合肥料：
 - 窒素 24%（速効性 12%+緩効性 12%）、リン酸 8%、カリ 9%
- 【選定肥料 2】 <C 社> シグモイド 70+90 日タイプ被覆尿素配合肥料：
 - 窒素 20%（速効性 10%+緩効性 10%）、リン酸 10%、カリ 10%
- 窒素成分の配合割合は速効性と緩効性で 1：1、食用生産よりも緩効性の割合が低い
- 稈長は種子生産における慣行の分施肥体系と同等で倒伏の発生はほとんどみられない
- 千粒重は種子生産における慣行の分施肥体系よりやや小さいが、精粒収量は同等
- 発芽率は種子生産における慣行の分施肥体系と同等に高い



稈長（選定肥料と分施肥体系の比較）



発芽率（選定肥料と分施肥体系の比較）

利用場面と留意点

- 総施肥窒素量は「コシヒカリ」の種子生産における慣行の分施肥体系と同等とします。
- 「コシヒカリ」以外の品種については別途検討が必要です。

お問い合わせ先	伊賀農業研究室 中央農業改良普及センター	中山幸則 小倉 卓	電話 0595-37-0211 電話 0598-42-6323
参考になる資料	三重農研HP： http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc/KenSeika/index.htm		